

## マネージメント情報

### ※理念について

弊社のホームページに掲載されていますが、あらためて THMS の理念について紹介させていただきます。

### 「牛と人と共に」

牛がいて、牛に関わる人（顧客のみなさん、酪農畜産に関わる全ての人）がいてそれにわれわれ THMS の全員が加わり共に歩み、牛に関わる全ての人と THMS と関わって良かった、一緒に幸福になろうという考え方です。

私たちは「牛と人と共に」の理念の下今までもこれからも常にみなさんに寄り添い、隣を走る伴走者です。

「Nothing Challenge Nothing Gain！」の精神で役職員一同挑戦し協力しこの理念を実現すべく今後も精進して参ります。

### ※新年度が始まりました

今年度も 4 月 1 日に入社式を行い新年度がスタートしました。

今年は獣医部門に 2 名、受精卵部門に 1 名の採用があり、役職員合わせて獣医師が 14 名、授精師が 14 名…授精・移植担当 6 名、胚培養担当 8 名、事務職員と OPU 牛舎担当 9 名に新役員の小池の合計 38 名の創業以来最大規模の体制となります。

また、役員を除く平均年齢は獣医師 34.5 歳、授精師 34.4 歳、培養士 30.6 歳と非常に若い年齢構成で、初めて獣医師と授精師の人数が同じになりました。

少しややこしい説明になりますが、胚培養士というのはヒトの生殖医療の世界(日本臨床エンブリオロジスト学会 (JSE)と日本生殖医学会 (JSRM)の二学会)で認定された資格で家畜の場合には体外受精卵移植師の資格を持った家畜人工授精師でなければ培養資格が無いという規定だけで正式な資格と呼称はありません。

胚培養技術者あるいは家畜人工授精師：胚培養担当という表現になります。

家畜の体外受精卵培養技術はこの 7～8 年で全国的に急激に普及してきましたのでその実態と法律及び資格認定の解離が大きいように感じています。

その基本になる家畜改良増殖法は昭和 25 年に施行された法律で時代時代で変更はされてきていますが、胚培養の資格については今のところ具体的な動きは無さそうです。

## 令和8年度の新人の紹介

獣医師:要 涼果(かなめ・すずか)さん

大阪府出身、麻布大学卒で昨年夏 THMS で実習をした後のインド旅行であのガンジス川で沐浴をしてきたという行動派でとても明るくアクティブな女性です。3人目(歴代5人目)の女性獣医師になります。

獣医師:藤江大悟(ふじえ・だいご)さん

滋賀県出身、帯広畜産大学卒で趣味は漫才、M-1 グランプリに自分で台本を書き北海道予選に出場した経験があり、もし国家試験に落ちたら吉本興業の NSC に行こうと考えていたとか

家畜人工授精師:胚培養担当:宮内菜々(みやうち・なな)さん

鹿児島県出身、帯広畜産大学卒で一度諦めかけた胚培養の道を思い直し昨年 THMS に実習に来て高校生時代の自分の夢を実現した頑張り屋さんです。

.....

・4月は旅立ちの季節です。  
新しく3名の技術者が採用になりましたが、昨年度末で律曲獣医師と相内授精師が各々の新しい人生に向かいTHMSを卒業しました。新しい環境で自分の夢を実現し良い人生を送って欲しいと思っています。

・今年度でTHMSは33年目を迎えます。  
先週中標律の「しるべと」で全員参加の全体会議を行いました。  
あらためて理念の確認と会社の今後の方針を共有し最後に創業者であり現社外取締役の黒崎から平成6年(1994年)に総合牛群管理サービスを開業する直前に当時アメリカでプロダクションメディシンの修行をして連載していましたデイリージャパンのコラム「プロダクション・メディシンを求めて」の最終回の原稿を元に当時の覚悟と思い、気持ちをあらためて全員の前で話していただきました。  
3人の新人始め役職員一同気持ちを新たに団結してより良いサービスを提供できますよう今後も精進してまいりますので、トータルハードマネジメントサービスを引き続きよろしくお願いいたします。